

公表:令和 4年 3月 5日

事業所名児童デイサービス十彩

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			十分なスペースを確保できている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置は法定基準を満たしている	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			身体的に不自由な児童はいないが必要な場合は配慮する
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				今後も継続した支援を実施する。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				保護者様からの意見を踏まえ改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				実施している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				現在は行っていないが検討はしている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月内部研修の実施、外部研修の情報共有を実施している。	継続した研修を行う。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				継続した支援を実施する。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				継続した支援を実施する。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員と連携を図り、立案している。	継続した支援を実施する。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			レクリエーションカレンダーを作成し、日々の活動内容を作成している。	継続した支援を実施する。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			児童の課題を情報共有を行い、課題に取り組んでいる。	継続した支援を実施する。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の状況に応じた必要な支援を行っている。	継続した支援を実施する。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼の際に職員間で打ち合わせを実施している。	継続した支援を実施する。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後に打ち合わせが行えない場合は連絡ノートにて情報共有を行っている	打ち合わせをする時間を持てるように工夫する。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を徹底し、朝礼での情報共有から支援の検証を実施している。	支援の改善を行えるように職員間で連携を図る。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				定期的なモニタリングを実施している。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				児童の状況に合わせた支援を行うようにする。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議がある場合は相応しい者に参加してもらうようにする。	現在はコロナ感染症予防の為担当者会議は電話での対応となっている
	⑩㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校に連絡を取り、連絡調整を実施している。	担任の先生との関わりを持ち、情報共有を行えるように今後も継続した連絡を行う。
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在医療的ケア児がいないためそのような事例はないが必要な場合は整える
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援センターに問い合わせし、情報を確認している。	今後も相互理解に努める。
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				福祉サービス事業所等へ移行があった場合には情報を提供する。
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関とも電話での連絡を取り、情報を確認している。	
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		コロナ感染症予防の為実施は見送っている。
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				状況により、行えるように検討する。
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時に伝えていくようにしている。
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				都度相談があった場合に対応策を伝えられるように支援する。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				相談があった都度助言や支援を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			コロナ感染症予防の為実施は見送っている 希望により必要に応じて検討する。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				継続して対応していく。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報を発行し、活動内容や行事について情報を発信している。	継続して実施する。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				個人情報に配慮する。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				意思疎通をはかれるように保護者様とはメールや電話でのやり取り、家庭訪問等で情報伝達を行う。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			コロナ感染症予防の為実施は見送っている。最低限で行っている
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				今後も研修などを通して職員に周知していく
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				避難訓練は年二回実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部研修を実施している。	継続して研修を行う。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				今までそのような事例がない
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーがある場合は医師からの研修を受け、対応している。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。